

†

第1章 今後の展望

1.1

医療における X 線検査は、患者の被爆を最小限にしながら診断に適当な画質を確保することが望まれる。高画質な画像を得るためには十分な発光量が必要であり、低線量照射において X 線フィルムの乳剤の感度を増進させるために、増感紙を乳剤に接するように置くことがある。増感紙は高い原子番号を持つ光放出蛍光剤からなり、これにより X 線に対するフィルムの感度は 10 倍程度増加する。

1.2 投影画像の取得

本実験では、富士フイルム株式会社の富士医療用増感紙 HR-16 を用いた。蛍光体には $Gd_2O_2S:Tb$ などが用いられており、厚みは 1mm 程度である。